

はい！

やくも町議会です

第 71 号

令和3年12月

編集／議会広報広聴常任委員会

新体制決まる！

議論を尽くし後悔のない議決を！

議長 千葉 隆

議会が変われば行政も変わる！

副議長 黒島竹満

主な内容

	ページ
○令和2年度決算審査	②
○4名の議員が町政を問う（一般質問）	⑧
○補正予算	⑫
○議決・賛否一覧他（定例会・臨時会）	⑭
○常任委員会の活動（所管課報告）	⑯
○議会広報モニターの皆さん（耳をすまして）	⑰
○新体制でスタート！	⑱



委員会審査

認定

歳入216億5,311万円（昨年度は171億5,411万円）

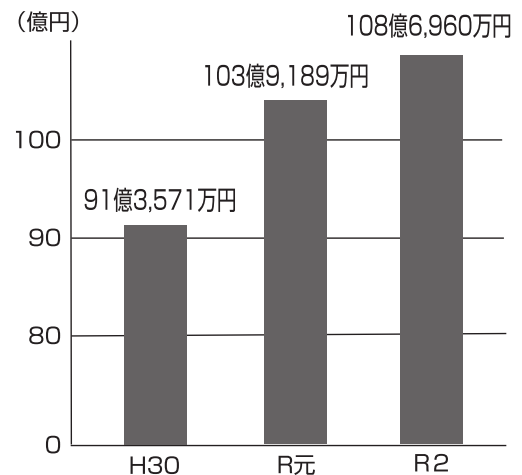
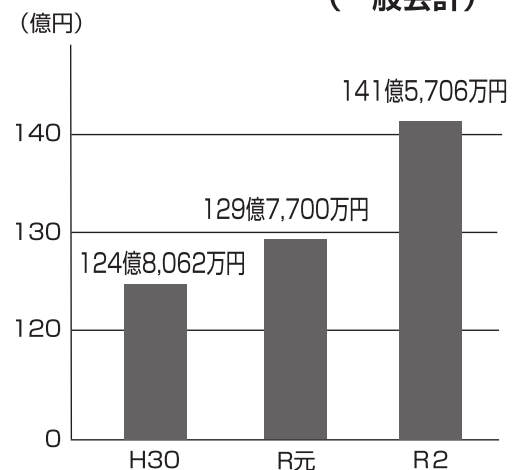
歳出211億5,142万円（昨年度は168億7,060万円）

基金の状況

単位：千円

区 分	令和2年度（出納閉鎖日） 現在高
財 政 調 整 基 金	1,048,060
減 債 基 金	752,762
特 定 目 的 基 金	8,395,145
公 共 施 設 整 備 基 金	2,638,156
ま ち づ く り 振 興 基 金	122,528
中山間ふるさと・水と土保全基金	5,326
地 域 福 祉 基 金	31,691
ふ る さ と 振 興 基 金	80,424
地 域 振 興 基 金	1,100,000
ふ る さ と 応 援 基 金	4,371,697
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	45,323
小 計	10,195,967
定 額 運 用 基 金（現金）	336,785
土 地 開 発 基 金（現金）	264,694
奨 学 基 金（現金）	72,091
国民健康保険事業基金	164,089
介 護 給 付 準 備 基 金	142,082
農業集落排水事業償還基金	30,678
合 計	10,869,601

基金（貯金）現在高の推移

町債（借金）現在高の推移
（一般会計）

令和2年度

決算特別

一般会計

5億169万円の黒字

決算特別委員会委員長報告

審査の結果、各会計決算については、いずれも認定すべきものと決定した。

令和2年度の決算を見ると、財政の健全化を維持しているが、今後の町税や地方交付税の減少を考えると、決して楽観視できる財政状況ではなく、新型コロナウイルス感染症の地域経済への影響を考慮すると、厳しい財政状況に変わりはない。

また、本委員会において、意見調整の結果、町理事者に伝えるべきであるとの意見で一致した事項について、申し添える。

町債の償還について、監査委員の審査意見書にもあったとおり經常收支比率は年々上昇し、今回、将来負担比率が発生している状況にある。

他自治体と比較すると数値的には高くはないにしても、人口減少による町税や地方交付税の減少は、今後において想定されるところである。



令和2年度は、償還額より借入額が上回っていることから、結果として町債が増加しており、今後の町債の償還が一定時期に集中するという懸念がある。

持続可能な町財政運営のためにも、今後の事業実施にあたっては、財政収支見通しを勘案しつつ、計画的な事業実施に向けて、総合計画及び実施計画に盛り込み、事業を進めることを強く望む。

【総括質疑】

問 昨年の決算委員会で、理想の經常収支比率は70～80%と聞いていたが、今回は91・6%となっている。監査委員の意見書には「財政を圧迫する可能性の度合いを示す将来負担比率が発生している状況にある」と書いてある。単年度決算では黒字だが、町長としてはどのように捉えているのか。

(赤井)

答 財源については、ふるさと納税や企業版ふるさと納税を利用しながら、起債を起こさないで充てていくこと。さらに今後、地方交付税が減少していくこともあり、役場を小さくしながら、サービスができることを目指していく。

(町長)

基金残高については増えているが、事業発注の際の支払いが年度をまたいでしまうことで、将来負担比率が発生するような計算となるもので、財政的には心配する必要はないと捉えている。(財務課長)

町民の幸せに つながったか？

R2年度 決算審査

※主な意見を抜粋しました



さとう ともこ 委員長
佐藤 智子

【総務費】

Q 自動車運転免許自主返納支援事業の予算206万3千円に対し、決算では86万円にとどまっている。周知の仕方に工夫が必要ではないか。（三澤）

A 予算では一人1万円として、200人を見込んでいたが、結果は122人であった。途中からの申請もあり、全員が1万円分ではなく、差額は翌年支給することになっている。周知方法は町のホームページや警察署、ハイヤー会社にチラシを置いている。今後、免許返納の機会を増やしていきたい。（総務課長）

返納後の「足」の確保も急務！

Q ふるさと応援寄附金奨励事業の商品開発で、他町では開発費を出して研究している。株木蓮に時間と予算を与えて取り組む考えはないか。（関口）

A 返礼品を一社に頼っているのが八雲町の弱点。八雲の豚肉も対象になると総務省から内諾を得たので、それらも含め、木蓮でも開発できないか時間をかけながら取り組んでいきたい。（町長）

Q 特定政策調査検討事業と八雲みらいプロデュース会議運営事業の進捗状況と今後の展開は？（赤井）

A 予算300万円に対し決算は39万円であった。内訳は新規政策事業の調査などタブレット端末使用料。新型コロナウイルスの影響で関東への出張はできなかったため、執行残が多かった。（政策推進課長）

A 目的は交流人口の拡大や企業誘致、企業版ふるさと納税であり、今後はリモート会議も考えてみたい。（町長）

【職員費】

Q 仕事量が増えていのに、職員の数がほぼ同じで残業が増えていく。サービス残業もある中、仕事量と職員の数をチェックしているのか？（千葉）

A 新庁舎移転に併せて機構改革を検討する。休職がないよう適材適所を考え、職場環境に対し配慮していく。（副町長）

サービス残業…
ダメ、絶対！（三澤）



【民生費】

Q 介護従事者確保推進事業が新型コロナウイルスの影響で開催できていない。感染対策を含め現場での対応

を学ぶことが最も大切な事業だと思うが、今後の対応は？（赤井）

〔A〕資格取得のための事業で、自宅でできるところはやるようになっていた。今後は感染対策をしながら実施したい。（保健福祉課長）

〔Q〕アイヌ住宅改良整備資金貸付事業について予算1240万円に対し、決算は1件180万円であった。金融機関の様々な融資制度がある中で、この事業は必要なのか。（大久保）

〔A〕北海道からの移管事業で、アイヌの方々の生活の質の向上と支援が目的。アイヌ協会から存続の要望もあり、すぐに廃止とはならないが、全道的な動きも参考にしなければならない。（住民生活課長）

〔Q〕福祉タクシー助成事業と高齢者等入浴料助成事業は、申請ではなく、対象者全員に交付すべきではないか。（千葉）

〔A〕福祉タクシーは非課税世帯が対象なので、本人の同意を得た後、課税状況の確認をして交付してい



せきぐち まさひろ
関口 正博 副委員長

る。今後検討してみたい。（保健福祉課長）

【衛生費】

〔Q〕乳幼児に対するインフルエンザ予防接種の助成は大変好評だった。今後も継続できないか。（赤井）

〔A〕早い段階でインフルエンザワクチンの確保に動いていたが、国ではワクチンの製造を急に増やすことができず、接種できないケースもあった。令和3年度もワクチン不足の情報があるが、検討していきたい。（保健福祉課長）

【労働費・商工費】

〔Q〕コロナ対策事業の評価と効果は？（千葉）

〔A〕融資関係の保証料と利子補給を行ったが、結果は37件と伸びなかった。

軟白ネギ・牛乳・花きの消費拡大においては、好評だった。

飲食店、宿泊業等には、国・道の支援金と合わせて、町の支援金も上乗せできたので、事業継続に効果があった。

プレミアム商品券は2万セット完売し、換金率99・8％で一定の効果は得られた。（商工観光労働課長）

〔Q〕循環型商品券は町民からも好評だ。重要な施策として認識しているか。（千葉）

〔A〕大変好評であった。商工業者からも喜ばれている。今後も検討していきたい。（町長）

八雲町で実施した

【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済対策事業】

- ・ 中小企業等経営安定支援事業（利子・保証料の補給）
- ・ 新型コロナウイルス緊急経済対策事業（主要作物及び製品の販売）
- ・ 感染症対策協力金支給事業（感染防止対策をしている事業者に支給）
- ・ 新型コロナウイルス緊急経済対策プレミアム商品券発行事業
- ・ 町内循環型商品券発行事業

〔Q〕商店街のロードヒーティングの熱源を見直し、再エネ活用を検討すべきではないか。（関口）

〔A〕商店街組合に管理をお願いしているが、抜本的な話し合いをする好機。道道ということもあり、今後、再エネ活用について北海道と協議していきたい。（町長）

Q 奨学金償還支援事業は決算額0円であった。周知の方法に問題があったのでは？（三澤）

A 町のホームページや町広報で周知したが、初年度で制度が浸透されなかったのではと考える。令和3年度は学生支援機構のホームページにも掲載し、現在3件の申込みがある。（商工観光労政課長）

Q 採用する企業についての周知も必要ではないか。（三澤）

A 企業に対する周知について検討したい。（商工観光労政課長）

Q 八雲高校にもPRすべきでは？（赤井）

A 高校在学中の周知を検討したい。（商工観光労政課長）

Q もっと有効に使えるよう工夫すべきでは。（牧野）

A 介護、建設、林業からも職員が不足しているという声を聴いている。域学連携の中で大学生と話し合いながら、制度を活用していきたい。（町長）

【農林水産費】

Q ホタテ貝養殖漁業経営安定対策事業は両漁協に対する預託の実績は？（黒島）

A 八雲町漁協は38件1145万円、落部漁協は15件750万円、合計53件1895万4千円となっている。（水産課長）

Q 件数が少なくなっているが、どのような事業に使われているのか。（黒島）

A 平成30年は85件、令和元年度は81件、令和2年度は53件と減っている。ホタテ養殖の稚貝購入資金であるが、ザラボヤ対策についても借り入れ可能。1件50万円が限度。（水産課長）

Q 熊石のサーモン陸上養殖施設整備事業の現状と今後は？（関口）

A 冷水川では流量と環境調査、地下水源について調査を発注したが、見市川のサクラマスの施設が来年3月に廃場となるため、北海道と協議し、その施設を活用することにした。（産業課長）

A 落部漁協は3年で一区切りと

する。熊石では20mサークルで事業化に向けた検証を進める。見市川では卵からふ化するまで養殖していきたい。（町長）



北海道二海サーモン

Q 沿岸漁業経営改善調査研究事業はコンブ・ナマコ・ウニが対象

であるが、予算の半分しか使われていない。より効果のある予算の使い方をしよう指導してもよいのでは？（黒島）

A 八雲・落部両漁協に対し、より積極的な調査をするようアピールしていく。（町長）

【土木費】

Q ユーラップ公園の牛の像はきれいだが、その下の石碑の文字は読めなくなっている。角田弟彦の石碑も含めて、建立した時の思いを、読めるうちに修復しなければ碑の意味がなくなる。修繕はできないのか。（三澤）

A 関係課と連携を取って修繕していきたい。（公園緑地推進室長）

Q 除雪機械整備事業に関して、グレーダーからタイヤショベルにしたのはなぜか。（横田）

A グレーダーは高価なうえ、運用も冬季に限定されるため、夏も使えるタイヤショベルとなった。（建設課長）

Q 空家対策事業費の予算1060万円に対し、特定空家解体、子育て世帯住宅改修の申請がともに0件だったが、令和3年度の予算は2100万円となっている。この理由は？（三澤）

A 令和3年度の予算増は一般の空家解体20件分を追加したため。実態把握のアンケートを取り、空

家対策協議会で新たな計画を策定する予定である。(建設課長)

【Q】特定空家の基準が厳しく、解体を申し込んでも簡単に受け付けてもらえない。もっと柔軟に対応できないか。(黒島)

【A】これからも国や道に要望する。町独自でできることも検討したい。(町長)

【消 防 費】

【Q】備品購入費について、自動心肺蘇生器、電動ストレッチャーは全ての救急車に設置されているのか。(千葉)

【A】自動心肺蘇生器は設置している。電動ストレッチャーは未設置。耐振・防振のものを考えていきたい。(警防課長)

【教 育 費】

【Q】GIGAスクール整備事業でタブレット端末が配布されたが、現状の課題は？(赤井)

【A】ICT活用力向上推進チーム



バスケット教室の練習風景

を立ち上げ、指導技術の向上を図っている。夏休みの課題やコロナで登校できない児童生徒への配信を行った。(学校教育課参事)

【Q】スポーツ事業でレバングのバスケット教室が中止となった。今年は八雲中学校の男子バスケット部が全国大会に出場したこともあり、タイミングを見て実施すべきでは？(大久保)

【A】令和2年度は中止したが、令和3年度は中学校で3回実施した。少年団も対象となるよう調整する。(体育課長)

【歳 入】

【Q】将来負担比率が不安である。

【A】毎年歳入を固く見ることで、対応できるのか？(赤井)

【A】歳入について心配しているのが地方交付税だ。人口減少が抑えられるかが一番の課題。働く場所、雇用人口の増を目指す。ふるさと納税はいつまでもあると思わず、

なくなっても八雲の産業で稼ぎ出せるようにしていきたい。(町長)

【Q】不納欠損額4500万円の内容は？(横田)

【A】熊石地域のグループホームが昨年1月、破産手続きを終え、補助金返還の見込みがなく債権を放棄したもの。(保健福祉課長)

【国民健康保険事業特別会計】

【Q】コロナ禍における影響は？また、国保税の未納者・滞納者の相談は？(三澤)

【A】受診控えで医療費が伸びなかったが、国保会計には影響はない。(住民生活課長)

【A】国保税に関しては、国の制度による減免申請が730万円分、徴収猶予が400万円分の相談があり、柔軟に対応してきた。(財務課長)

【病院事業会計】

【Q】新型コロナの影響もあり、黒字決算となったが、人口減少は患者数減少につながる。内科医の適切な人数は？(赤井)

【A】コロナ対応やワクチン接種、透析、救急搬送など、範囲が広いので、常に6人は必要と考えている。(総合病院事務長)



一般質問

町政を問う！

※質問した議員本人が原稿を書いています。

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。

華やかであるが「力量」が問われる。

Q

(株)青年舎、(株)木蓮の見通しは？

A

自立することが一番と考える

よこたきよし 議員
横田喜世志

質問

青年舎については搾乳牛

130頭程で、ふん尿処理施設もまだできていない中、日本大学跡地の購入や改修などの投資をしている。そして株式会社木蓮との関係では、株を持ち合うことについて総務経済常任委員会で報告された。このように収益のない青年舎と、収益が期待できない木蓮では共倒れにならないのか。

また、毎年の決算報告は法律に基づいて議会に報告しているが、事業の経過や今後の見通しなどについてはどうなのか。

町長

青年舎は当初の計画どおり進んでいる。木蓮については新たな収益を得る仕組みづくりが必要と考えている。青年舎と木蓮は、それぞれが独立した会社なので共倒れすることはない。

質問

総務省でも、第三セク

ター等の抜本的改革や経営健全化等に関する指針を出し、それを受けて自治体では存廃を含めて改革が進んでいる。会社の健全化は第三セクターからの脱却ではないかと思うが、町長に伺う。

町長

青年舎と木蓮が今後、力をつけていき、なるべく早く町から自立することが一番だと考える。

議会これからの予定

《12月》

3日

議会運営委員会

9日～15日

第4回定例会

全員協議会

総務経済常任委員会

文教厚生常任委員会

広報広聴常任委員会

議会を傍聴してみませんか

次の議会は、

令和3年第4回定例会

12月9日(木) 午前10時から

開会の予定です。

お気軽に足を運んでみてください。

YouTubeで映像配信もします

Q チャレンジ基金の復活を！

A 仕組み作りを十分検討

あかい 赤井 睦美 議員



出しとなった。また、助成金を企業や個人の経営規模の拡大や利益に充てるなど、当初の目的・趣旨から逸脱しているとの批判が多く寄せられたこともあり、この事業は平成14年に廃止された。

問 以前八雲町では、町民のアイデアをまちづくりに活かすため「チャレンジ基金」を行っていた

が、財政的なこともあり消滅した。そこで、毎年ふるさと応援寄附金

が20億円を超えていることもあり、その1%を活用した「チャレンジ基金」を復活させることはできないか。

町長 平成4年度にスタートした「チャレンジ基金」は、財源として基金積立金の預金利息収入を活用していたが、低金利時代に突入し、大半が一般会計からの持ち

出しとなった。また、助成金を企業や個人の経営規模の拡大や利益に充てるなど、当初の目的・趣旨から逸脱しているとの批判が多く寄せられたこともあり、この事業は平成14年に廃止された。

Q 「町長の夢」進捗状況と今後は？

A 負の遺産にはしない！

問 昨年、八雲町をより豊かにするための構想（夢）として、ウ

イスキー工場、ワイン工場、牛乳

工場、熊石・奥尻間のフェリーの話があったが、現状ではどこまで調査が進み、どこまで実現の可能性があるのか。そして、総合計画の中間見直しを見据えて、今後どのような点に力を入れるのか伺う。

町長

ウイスキー蒸留所について

では、事業連携を予定している小学館集英社プロダクションが、八雲町を訪れ、建設候補地を選定する予定。その後、事業収支や運営等について調査・検討を重ねながら、事業化の可否について協議していく。

ワイン工場については、平成30年度から醸造用ブドウの試験栽培を実施している。3年後の収穫に手ごたえを感じたら、工場建設に向け、検討していく。

牛乳工場については、工場全体を八雲町に誘致することを考えていたが、難しい場合は、乳製品を作れるようなサテライトの第2工場などを想定している。関係機関と意見交換しながら進めたい。

フェリーについては、北海道新幹線の延伸を見据え、渡島・檜山

の一体的な観光と、サーモン養殖による産業の連携を目指した広大なプロジェクト。しかし、多額な費用と法律の規制など多くの課題があり難しいが、関係機関と連携し議論を深め、あらゆる可能性を探っていきたい。

コロナが収束しない限り厳しい経済状況が予想されるが、八雲町のブランド力の向上と共に熊石と八雲の両地域への企業誘致と横断的な経済の活性化を図り、人材育成と未来を担う子ども達に負担を強いることのない持続可能な八雲町を目指すため、様々な施策を講じる。



子ども達に夢と希望を！

Q 八雲中学校の大規模改修に生徒の意見は？

A 意見聴取の方法等、学校と協議したい

みさわ 三澤 議員
きみお 公雄

問 教室での夏休み中の部活のイベントを手伝う機会があったが、その最中に生徒が暑さで倒れるという事例があった。その生徒の立ち位置は窓側ではあったが、窓と窓の間で、風が当たらない場所であった。これはほんの一例だが、このような事例が発生しているにもかかわらず、網戸の設置で対応しようとしている。冷暖房併用型で換気もできるエアコンもあるのに検討もしていない。

このように改修項目を大人側だけの判断で決めるのは大変残念なことではないだろうか。意見の集



約にタブレット端末を活用するなど、学校を最もよく使い、主役である生徒の声は聴くべきだ。外構に関しては今年度の実施設計には入っていないが、計画はあるので、この機会にスケートボードの開放区を造ってはどうかと考える。学校前庭にソーラーパネルを設置し、その下に自転車を含め、それ以外の敷地をスケートボードが安全にできるように整備してはどうか。教育長の考えを伺う。

教育長 改修内容について、教職員から事前に意見を聞いており、網戸の設置や窓枠、放送設備の改修等に反映させている。

今後、生徒の意見を活かす部分があるのか、また、どのような意見聴取方法があるのか等、学校と



八雲中学校

協議したい。

外構については、校舎前通路と駐車場の舗装改修を実施する予定。スケートボードは不安定なものに乗る競技の性格上、怪我がつきものであるが、自己責任の徹底が必要であるが、管理が厳しすぎても利用しづらいものになる。現時点では行政が主導して作るという考えには至らない。

Q クマ被害に 積極的な対応を！

A 電気牧柵への助成、害獣駆除の報奨金増額を検討中

問 全道でクマによる被害が増えている中、電気牧柵を設置する農業者への助成も必要と考える。また、現状では害獣駆除に協力するハンターの労苦に報いる体制になっていないと思う。町長の考えを伺う。

町長 電気牧柵の設置には、どのような支援が良いか検討していく。また、害獣駆除に対する報奨金の増額や、銃の保持・管理への助成を検討している。今後、北海道や警察に対しても声を上げていきたい。



Q 新型コロナウイルスワクチン接種の状況は？

A 全ての対象者が予約できる状況

さとう ともこ 議員
佐藤 智子

問 八雲地域、熊石地域それぞれのワクチン接種率は？

町長 八雲地域では9月9日から30歳未満の方の予約を開始し、

すべての対象者が予約できる状況になっている。

8月末現在の接種率		
八雲地域	1回目	60%
	2回目	46%
熊石地域	1回目	86%
	2回目	64%
全 体	1回目	64%
	2回目	51%

熊石地域では8月31日で国保病院での接種を終了した。

問 副反応の重篤な事例はあったか。

町長 集団接種会場では、接種後体調が変化し、状態観察した方が約40名。アレルギー症状で救急搬送された方が5名。いずれも軽症で、アナフィラキシーなど重篤なものはなかった。

総合病院会場での接種では軽度の異変が16名。

病院職員の優先接種の際にアナフィラキシー症状が1名出たが入院には至らなかった。

熊石国保病院会場ではアナフィラキシー症状が4名。念のため入院したが翌日には退院した。

いずれも中等度の症状で重篤なものはない。

問 千葉県柏市では、新型コロナウイルスに感染した妊婦が入院できずに赤ちゃんを死産したという残念な事例があった。

八雲町では、妊婦が新型コロナウイルスに感染した場合、八雲総合病院には入院できるのか。

町長 八雲総合病院では、分娩予定の通常分娩は受け入れるが、重度の肺炎を併発しているなど、特別な措置を必要とする場合は、市立函館病院へ搬送することになっている。

問 全国では子ども達にも感染が広がっているが、教育委員会としては、今後の感染対策をどのように考えているのか。

教育長 全国でもデルタ株による感染が児童生徒に広がっている。これまで実施している対策を徹底するとともに、スクールサポートスタッフによる消毒作業や、運動会、修学旅行などの延期・縮小など、感染対策を取りながら教育活動を行っている。

今後の対策としては、やむを得ず登校できない児童生徒に対して

の「オンライン学習」など、学びを保障する取り組みを進めていく。

Q 銭湯を熱望する声にどう応えるか

A 町で整備する考えはない

問 町内に唯一あった銭湯が再開できないまま数年が経った。町営で銭湯を開設する考えはないか。

町長 現在、民間事業者からは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、熱交換器が入ってこない状態にあるので営業再開ができないと聞いている。

昭和湯の再開を望む声、不便な思いをされていることも十分承知しているが、民間事業者が自力で運営しようとしていることに対し、町営で銭湯を開設することは考えていない。



町をめざして！

主な事業(補正予算)

7 / 29 臨時会
9 / 9 定例会

令和3年度 一般会計補正予算

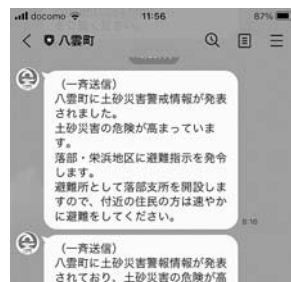
2億681万円追加

(補正後の総額 150億5,300万9千円)



熊石・大成間
不足分の追加

**予約バス運行
事業補助金
193万6千円**



八雲町LINE
公式アカウント
下のQRから
友達登録を！



**ライン配信システム
構築業務委託料
198万円**

**新幹線建設工事
発生土受入地購入費
830万2千円**

**漁業振興設備等
整備事業補助金
1,310万円**

ホッキ漁の噴流式
ポンプ2台導入

・感染症病床確保促進事業補助金(総合病院) 8億6,797万5千円
・ホタテ貝アイヌブランド化業務委託料 9,986万1千円

持続可能な

👁️👁️ 議会が注目した



**新型コロナウイルス
ワクチン接種事業
1,076万2千円**



飛沫防止のパーティション
などを購入

**庁舎感染対策
整備事業
272万2千円**



町内事業者
に対し一律
30万円の
支給

**感染症対策
支援金支給事業
3,308万円**



換気付きエアコン6台

**くまいし保育園
庁用備品購入費
404万4千円**

定例会・臨時会議件一覧

令和３年第４回臨時会（令和３年７月29日）			
議案第１号	財産の取得について	議案第３号	令和３年度八雲町病院事業会計補正予算(第２号)
議案第２号	令和３年度八雲町一般会計補正予算（第４号）	報告第１号	専決処分の報告について (損害賠償の額の決定について)
令和３年第３回定例会（令和３年９月９日～15日）			
認定第１号	令和２年度八雲町一般会計歳入歳出決算認定について	報告第１号	株式会社青年舎の経営状況の報告について
認定第２号	令和２年度八雲町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	報告第２号	株式会社木蓮の経営状況の報告について
認定第３号	令和２年度八雲町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	報告第３号	令和２年度八雲町病院事業会計継続費の精算について
認定第４号	令和２年度八雲町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	諮問第１号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
認定第５号	令和２年度八雲町熊石地域簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	発委第１号	豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書
認定第６号	令和２年度八雲町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	発委第２号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
認定第７号	令和２年度八雲町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	発委第３号	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書
認定第８号	令和２年度八雲町病院事業会計決算認定について	発議第１号	加齢性難聴への補聴器購入のための国の助成を求める意見書
認定第９号	令和２年度八雲町水道事業会計決算認定について	発議第２号	出産育児一時金の増額を求める意見書
議案第１号	八雲町個人情報保護条例及び八雲町手数料徴収条例の一部を改正する条例	発議第３号	土地利用規制法を施行することなく、更なる検討を求める意見書
議案第２号	八雲町副町長定数条例の一部を改正する条例	発議第４号	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書
議案第３号	八雲町過疎地域持続的発展のための固定資産税の課税免除に関する条例	発議第５号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書
議案第４号	八雲町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	発議第６号	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を求める意見書
議案第５号	八雲町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	発議第７号	大学生等への給付奨学金制度の拡充を求める意見書
議案第６号	八雲町過疎地域持続的発展市町村計画の策定について	発議第８号	コロナ禍における農畜産物の消費拡大及び高温・干ばつによる農作物被害対策を求める意見書
議案第７号	令和３年度八雲町一般会計補正予算（第５号）	決算特別委員会審査報告書	
議案第８号	令和３年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	役場庁舎等整備調査特別委員会報告書	
議案第９号	令和３年度八雲町病院事業会計補正予算(第３号)	総務経済常任委員会所管事務調査報告書 文教厚生常任委員会所管事務調査報告書	
令和３年第５回臨時会（令和３年11月９日）			
議案第１号	令和３年度八雲町一般会計補正予算（第６号）	同意第３号	八雲町農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて
同意第１号	八雲町監査委員の選任に関し同意を求めることについて	同意第４号	八雲町教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて
同意第２号	八雲町副町長の選任に関し同意を求めることについて		

異議あり！

第3回定例会 賛否一覧（反対のあった議案を掲載）

賛成 ○ 反対 ×

議 件 名	採決結果	関口正博	佐藤智子	横田喜世志	齋藤 實	大久保建一	赤井睦美	三澤公雄	田中 裕	牧野 仁	安藤辰行	宮本雅晴	千葉 隆	黒島竹満	能登谷正人
発委第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可 決	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
発議第1号 加齢性難聴への補聴器購入のための国の助成を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	×	欠	×	×	×	×	×	—
発議第3号 土地利用規制法を施行することなく、更なる検討を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	○	欠	×	×	×	×	×	—

※能登谷正人議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。



議会のうごき

《8月》

- 11日 総務経済常任委員会
議会運営委員会
- 19日 文教厚生常任委員会
議会運営委員会
- 27日 全員協議会
役場庁舎等整備調査特別委員会

《9月》

- 6日 議会運営委員会
- 9日～15日 第3回定例会
- 10日～14日 決算特別委員会
- 9日 全員協議会
総務経済常任委員会
- 10日 総務経済常任委員会
- 13日 文教厚生常任委員会
- 15日 広報広聴常任委員会
議会運営委員会

《10月》

- 1日 総務経済常任委員会
- 26日 全員協議会

《11月》

- 9日 第5回臨時会
全員協議会
総務経済常任委員会
文教厚生常任委員会
広報広聴常任委員会
- 12日 広報広聴常任委員会
- 18日 総務経済常任委員会
議会運営委員会
- 25日 文教厚生常任委員会
- 29日 全員協議会



常任委員会 の活動

令和3年8月から10月の
各常任委員会の活動です。

総務経済

所管各課から報告を受けた中で
主なものをお知らせします。

●黒岩地区A対策土受入地における「受入基準値超過」対策土の仮置きに係る「未報告」について
(新幹線推進室)

令和2年10月に、盤石トンネル
工区から掘削された「受入基準値
を超える」要対策土を誤って黒岩

の受入地に搬入した事案について
は、令和3年9月になって委員会
に初めて報告された。

しかし内容は令和3年3月の
「仮置き」についてであり、委員
会で質疑をした際に、事案の発生
が令和2年10月に遡ることが判明
した。

この一連の経過についての「未
報告」は、新幹線推進室の判断で
あり、土壌調査・対策が確定した
後に報告する予定であったこと、
また、「仮置き」については適正で
あるものと判断したことによるも
のであった。

●新幹線工事土質調査に起因（推
定）する春日地区の営農用水等へ
の影響について（新幹線推進室）

経過 ・令和2年8月頃 A氏の

井戸水の水質が変化した。（搾乳
パイプライン洗浄時の殺菌剤と水
が反応し、赤褐色化）

・令和2年11月 A氏が新幹線推
進室へ報告、聞き取りを行う。

・令和2年12月 鉄道・運輸機構
によるA氏の井戸の水質調査。

・令和3年3月 新幹線工事に係
る春日地区のボーリング土質調査
の再開。同じ頃、井戸水の変化が
強くなり、A氏、町へ報告。

・令和3年4月 鉄道・運輸機構
主催の水質検査報告会を実施。そ
の後、A氏への対応として、町水
道水を給水車にて運搬。機構は貯
水タンクを設置する。

・令和3年5月 応急対策として
行う給水によりA氏に損害を与え
た場合、機構の責任で対応すると
いう確認書を取り交わす。

その後 現在においても、緊急対
応策を続けている。

住民投票条例勉強会

総務経済常任委員会では、住民
投票条例について勉強会を重ね、
9月定例会において調査報告書を
提出しました。

地方自治法では「間接民主制」
を基本とし、私たち議員もその代
表者として議決を行っています。
一方でリコールなどの住民による
「直接民主制」も保障しています。

八雲町自治基本条例では、町の
将来を大きく左右する問題が発生
し、住民に直接その意思を確認す
る必要があるときに住民投票の制
度を設けることができるとしてい
ます。

住民投票の形態として、発議要
件など柔軟な対応が可能なのは、
八雲町自治基本条例でも制度の基
本としている「個別設置型住民投
票条例」ですが、実施には議会の
議決が必要となり、手続きなどに
多くの難関があります。

一方、今回議論の対象となった
「常設型住民投票条例」は、一定
の署名を集めれば議会の議決がな
くとも住民投票が実施できますが、
濫用を防ぐという観点から要件を
厳しく規定する傾向にあり、柔軟
な対応が難しいとされています。
調査の結果、どちらが優れてい
るかとの結論には至っていません
が、住民の関心を呼びつつ、議論
が前に進むことを希望しています。

耳をすまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。

今回は

議会広報モニターの皆さまです！

Q モニターをやってみて率直な感想を教えてください。

- ・他の町の議会広報に比べて、堅苦しくなく柔らかい。こんな感じでいいのだろうかと思ったが、読みやすくて良い。
- ・文章の書き方をもっと工夫して、目が行きやすいようにしたほうが良いと思う。
- ・誌面に余裕があればですが、議員が地域でどんな活動をしているのか、載せたほうが関心を引く。
- ・予算等の金額が大きいからか、数字がわかりにくい。もっとわかりやすくしてみては。前号の医師住宅の経緯はとてもわかりやすくて良かった。
- ・議件一覧や賛否一覧は必要があるのだろうか。文字も小さく、読む人もいないのでは。

Q モニターを引き受けて、議会を身近に感じたか？

- ・モニターを引き受けるということは議会に関心があるということ。関心のない人がモニターになっても、難しいのでは。
- ・「耳をすまして」のコーナーは、いろいろな方の意見がわかるので、つい読んでしまうし、知っている人が載っていると、声をかけるので、読んでもらうきっかけにもなる。
- ・「耳をすまして」の地域おこし協力隊の方の記事を読んだが、自分たちの気づかないところを気づかせてもらって良かった。
- ・表紙の写真に町民が写っていることで、「お孫さん写っていたね！」など声をかけることで、お互いに議会広報を見るきっかけになると思う。

Q その他、なんでもご意見を

- ・議会が傍聴できることも知らなかった。そうしたPRも必要では。



- ・議員から提案したことが、その後どうなったかを追跡する記事は良いと思う。
- ・一般質問、一問一答になってから、聞きやすくなった。以前は一人の質問が長すぎて飽きてしまうこともあった。
- ・知人のお子さんが生徒会に入っているが、どうすれば自分たちの意見を聴いてもらえるかわからないと言っている。是非議会側から声をかけてほしい。
- ・病院の話題は町民の関心が大きい。それ以外の予算も大切だが、話題はどうしても病院になってしまう。
- ・広報には関係ないが、コロナ対策の商品券はおつりが出ないので、額面千円ではなく五百円のほうが使いやすいという声を多く聞いた。
- ・広報モニターの制度は、関心をもってもらうにはとても良い取り組みだと思うので、ぜひ多くの方にやってほしい。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。
製作後は八雲町議会事務局（☎0137-62-2388）へご報告ください。

編集後記

八雲町長選挙、八雲町議会議員選挙がどちらも無投票となった。立候補をした側からすると、わずかでも費用が安く済むのはありがたいが、選ばれたといえない後味の悪さと、将来の担い手不足という不安が残る「気持ちの悪い選挙」であった。

以前から誌面改革を行ってきた議会広報誌であるが今号は、新たに就任された議長と副議長を表紙に、委員会構成やその他役職を裏表紙に配置した。これまでのように、かわいい子どもや美しい風景写真ではなく、あえておじさんのアップ写真を表紙に載せた。「そんなオヤジの顔を誰が見たい」と反対の声もあったが「議会や議員を知ってもらうための議会広報」を原点として、ストレートに紹介していきますので、4年間よろしくお願いたします。

議会広報広聴常任委員会
委員長 大久保建一

議会は変わります！新体制決まる！

令和3年11月9日開催の第5回臨時会（初議会）において、新体制がスタート。
千葉 隆 議長、黒島 竹満 副議長をはじめ、常任委員会等の構成が決まりました。

総務経済常任委員会



文教厚生常任委員会



議会広報聴常任委員会



◎委員長

○副委員長

〈後列右より〉
大久保建一
横田喜世志
宮本 雅晴

〈前列右より〉
○牧野 仁
◎安藤 辰行
三澤 公雄

◎委員長

○副委員長

〈後列右より〉
関口 正博
能登谷正人
黒島 竹満

〈前列右より〉
斎藤 實
◎佐藤 智子
◎赤井 睦美
倉地 清子

◎委員長

○副委員長

〈後列右より〉
赤井 睦美
三澤 公雄
佐藤 智子

〈前列右より〉
○関口 正博
◎大久保建一
倉地 清子

その他の条例委員等

監 査 委 員
渡島廃棄物処理広域連合議会議員
南部松山衛生処理組合議会議員
都 市 計 画 審 議 会 委 員
民 生 委 員 推 薦 会 委 員

宮本 雅晴
赤井 睦美 関口 正博
斎藤 實
横田喜世志
斎藤 實

議会運営委員会

委 員 長 三澤 公雄
副委員長 大久保建一
委員 赤井 睦美 委員 佐藤 智子
委員 宮本 雅晴 委員 牧野 仁